

## ごあいさつ



理事長 高橋 道夫

皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

本年も北上信用金庫に対する皆様のご理解を深めていただくとともに、今後一層のご愛顧を願ってディスクロージャー誌「まる見えしんきん2014」を作成いたしました。

さて、わが国経済は、デフレからの脱却と経済の再生を目指す、政府、日銀による政策の推進により円安、株高が進行し、大手企業を中心に業況の改善が進み、景気は回復傾向となっております。今年4月には消費税率の引き上げが実施され、その影響が懸念されましたが国内需要は多少の下振れがあったものの基調的には緩やかな回復を続けております。しかしながら、新興国経済の成長力や欧州債務問題、米国経済の回復等の海外経済の動向による輸出関連の不確実性が日本経済を巡る大きな情勢となっております。地域経済は、復興需要で公共工事や住宅着工が好調である反面、個人消費については消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動もみられていますが、景気の回復が地方へ波及していくことが期待されています。

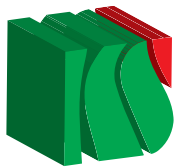
金融面では、「金融モニタリング基本方針」が公表され、金融機関に対する当局の検査や監督のあり方を大きく変える方向性が示されたほか、バーゼルⅢの適用により自己資本比率規制が強化されました。また、中小企業金融の実務の円滑化を通して日本経済の活性化に資することを目的として策定された「経営者保証に関するガイドライン」への対応や新規融資を含む積極的な金融仲介機能の発揮が求められています。こうした中、当金庫では、適切なリスク管理のもと、地域の中小企業への経営支援・コンサルティング支援を通じて、地域金融の円滑化に取り組んでおります。

平成25年度は、長期3ヵ年経営計画「第2次しんきん『つなぐ力』発揮 GOING KITAKAMI ～課題解決から新たな価値創造へ、そして地域の持続的発展をめざして～」の中間年度として、引き続き、地域の活性化および地域の持続的発展をめざして、経営計画の達成に向けて役職員一丸となって取り組んだ結果、業務純益667百万円、当期純利益134百万円を計上することができました。そのほか、重要な指標である自己資本比率については、平成26年3月期より新基準（バーゼルⅢ）で算出しておりますが、その自己資本比率は16.09%となり、国内基準の4%を大きく上回り、引き続き高い水準を確保しております。今後も経営の健全性をより一層高めてまいります。

本誌では、平成25年度事業概況や内部統制、地域貢献活動などを取り上げ、当金庫の経営内容について分かりやすくご説明させていただきましたので、なにとぞご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

皆様におかれましては、今後とも、変わらぬご支援、お引き立て賜わりますようお願い申し上げます。

平成26年 7月



## 経営理念

### 経営理念

## 地域金融機関として 「中小企業の健全な発展」 「住民生活の向上」 「地域社会の繁栄」 の実現に貢献する



それが為われわれは、

相協力して経営をより堅実な発展性のあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して職場をより明るい、楽しい働きがいのあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して自分をより高い豊かな教養のあるものにしよう。



### 当金庫の姿勢

当金庫は、昭和23年9月の創業以来、協同組織の金融機関として長年にわたり地域に根ざし、「地域金融機関として『中小企業の健全な発展』、『住民生活の向上』、『地域社会の繁栄』の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、相互扶助の精神を常に念頭におき、地域社会との共存共栄を図りながら、社会的使命とその役割を果たしてまいりました。

この姿勢は、今後も何ら変わることなく、地域の皆様から「愛され」、「信頼される」地域金融機関として、健全経営に徹するとともに、より一層の良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

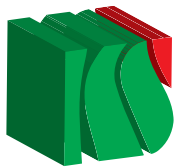
### 信用金庫法

(施行昭和26年6月15日)

#### (目的)

#### 第1条

この法律は、国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資するため、協同組織による信用金庫の制度を確立し、金融業務の公共性にかんがみ、その監督の適正を期するとともに信用の維持と預金者等の保護に資することを目的とする。



## 経営方針

### 長期3ヵ年経営計画

#### 第2次「しんきん『つなぐ力』発揮」 GOING KITAKAMI (ゴーイング北上)

～課題解決から新たな価値創造へ、そして地域の持続的な発展をめざして～

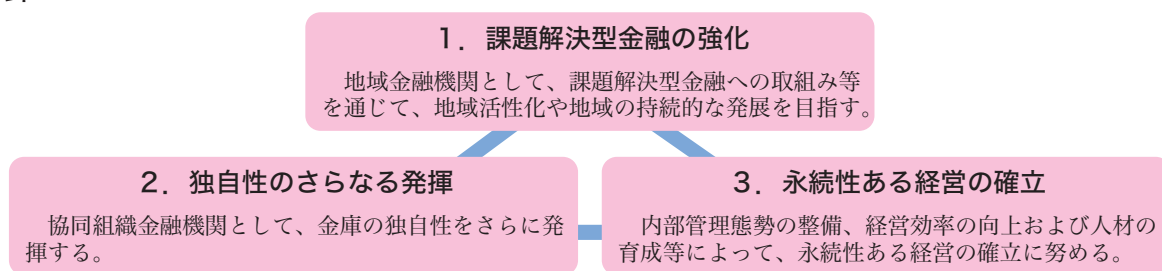
自 2012年(平成24年)4月 1日

至 2015年(平成27年)3月31日

#### ◆計画理念

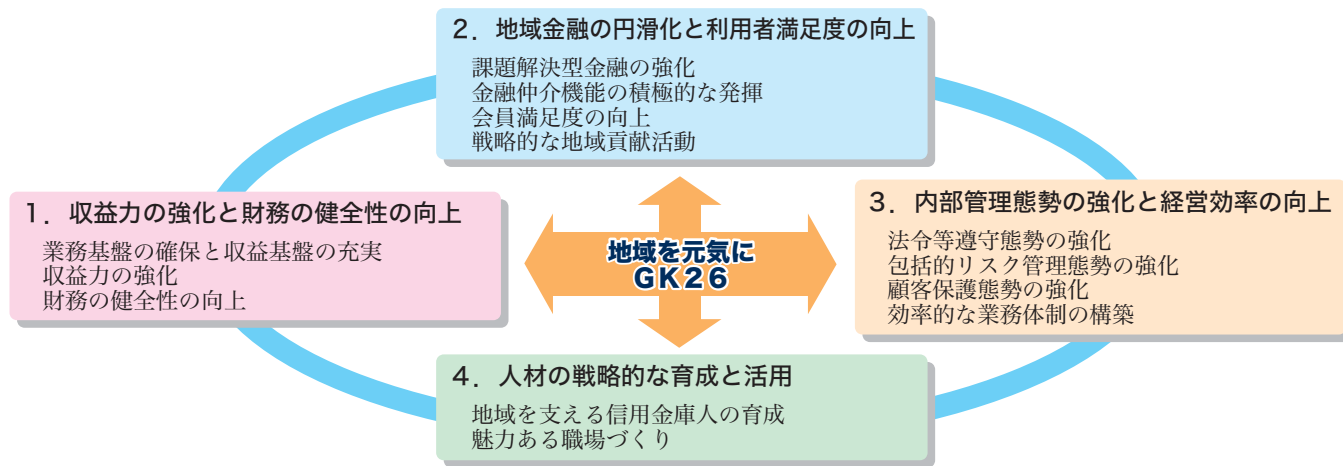
金庫が持つさまざまな地域の関係者の方々と結び付ける役割(「つなぐ力」)を発揮し、新たな価値を生み出し、地域社会の持続的な発展に貢献することをめざす。

#### ◆基本方針



### 平成26年度経営方針

『地域を元気にGK (GOING KITAKAMI) 26』として、以下の4つを経営重点方針と定め、当金庫が創立以来培ってきた最大の強みである「地域をつなぐ力」を発揮して、地域から信頼される金庫経営を確立し、経営資源の有効活用を図り、全役職員の叡智と協調によって、長期3ヵ年計画の目標達成をめざしていきます。



### 平成26年度地域密着型金融推進への取組み

地域金融機関である当金庫が、地域の活性化や持続的な発展に貢献していくためには、これまで行ってきた地域密着型金融への取組みをさらに深化させていくことが重要です。よって、下記の3項目を地域密着型金融推進の取組み方針と定め取組んでいくこととします。

#### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- ・創業・新事業支援、並びに経営改善支援、事業再生および事業承継への積極的な取組み

#### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み
- ・企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力「目利き力」等、人材育成への取組み

#### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ・地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み
- ・地域活性化につながる多様なサービスの提供